

2018 年祈りのテーマ：大祭司 〈The High Priest〉

旧約聖書における大祭司の衣服から、今日の私たちの生活に学べることを見ていきます。

天の御父が、「求める者に与える」と約束してくださった聖霊の注ぎを私たちが求め、兄弟姉妹と心を合わせて祈る時、祈るあなた自身とあなたが祈っている対象の方の人生は変えられると私たちは信じています。

各時代の希望に、次のように記されています。

「祭司の着ているものはすべて完全で傷のないものでなければならなかった。この美しい祭司服によって、大いなる本体であられるイエス・キリストのご品性が象徴されていた。衣服でも態度でも、ことばでも精神でも、神は完全なもののしか受け入れることがおできにならない。神は聖なるお方であるから、その栄光と完全さが地上の奉仕に表わされねばならない。天の奉仕の聖潔は完全なもののしか正しく代表することはできない」『各時代の希望』下巻、987 頁

祭司が着ているすべての衣服と動作は人々にある印象を与えるよう意図されています。「祭司の衣服と動作のすべては、それを見る者に、神の神聖なこと、その礼拝が清いものであること神の前に来る者には純潔が要求されることなどを、深く感銘させるものでなければならなかった」（『人類のあけぼの』上巻、414 頁）。祈りの期間中、大祭司の衣服に象徴されている霊的なことを学んでいきましょう。

祈りの時間のガイドライン

- 簡潔な言葉で祈りましょう。— 1つの課題について簡潔な文章で祈りましょう。そして他の人に祈る機会を譲りましょう。会話と同じように、祈りたいだけ何度祈っても良いのです。
- 沈黙の時があっても構いません。聖霊の声に耳を傾ける機会となります。
- 聖霊の導かれるままに讃美歌を歌うことも、大きな祝福となります。この場合、ピアノ伴奏は要りません。アカペラで歌いましょう。
- 祈りの課題を挙げるために大切な祈りの時間を費やしてしまうより、むしろ、それらの課題について祈りましょう。あなたが祈ったのと同じことについてさらに他の人が祈っても良いですし、あなたの必要について約束を求めて祈ってもらうこともできます。

約束を求める

神は御言葉を通してたくさんの約束をお与えになりました。それらの約束に基づいて祈ることは、私たちの特権です。主のご命令と勧告は、すべて約束です。主は、ご自身の力によって私たちが成し得ないことをするように求められることは決してありません。

私たちが祈る時、自らの必要、困難、課題ばかりに目を向け、自分が直面している状況について嘆き訴えることは非常にたやすいことです。これは祈りの目的ではありません。祈りは、私たちの信仰を強めるものです。神の約束に基づいて祈ることをお勧めする理由はここにあります。神の約束は、自分自身の弱さではなくキリストに目を向けるための助けとなります。主の御姿に変えられるのは、主を見上げることによるのです。

「神の御言葉の中にある約束は、すべて私たちのためのものです。信仰によって願い求めるならば、あらゆる霊的な祝福を受け取るという神の御言葉は確かな約束です。求め続けるなら、あなたが求めるよりはるかに、あり余るほど豊かに受けることができます。」

約束に基づいて祈るためには、どうすれば良いでしょうか。例えば、平和について祈り求める時、ヨハネ 14 章 27 節を用いて祈ることができます。「主よ、あなたはこうおっしゃいました。『わたしは、平和をあなた

がたに残し、わたしの平和を与える。わたしはこれを、世が与えるように与えるのではない。心を騒がせるな。おびえるな』。あなたが約束された平和を与えてください」。その場ですぐに与えられたと感じなくても、主が平和を与えてくださることを感謝しましょう。

私たちは様々な約束を求めて祈る「約束に基づく祈り」というノートを作成することも出来ます。祈る時、神の約束を思い出して祈りましょう。個人的な祈りにおいても、公の祈りにおいても、神の約束を大胆に求めましょう。

断食

祈りの10日間において、ダニエルの断食をするようにお勧めします。祈りと断食とによって1年を始めることは、わたしたちの1年の歩みを神におささげする上で非常に有益な方法です。エレン・ホワイトはこう言っています。

「神の民は今も、又今から最後の時まで、いよいよ熱心さを増し、明らかに目をさまして自分の知恵に頼らず彼らの指導者である神の知恵に頼って行かなければならない。彼らは断食と祈禱のために幾日かを聖別すべきである。完全に食物を断つことは要求されないかも知れないが最も単純な食物を控え目に食すべきである。」（『食事と食物に関する勧告』正しい食事 81、82 ページ）

私たちは、ダニエルが10日の間、果物と野菜だけを食べたことを知っています。同じように、祈りの10日間において、非常に簡素な食事をするをお勧めします。砂糖、加工食品、精製食品、清涼飲料水などを摂らないようにすると、様々な意味での利益があります。まず、簡素な食事をするということは、より短い時間で食事を準備することができ、より多くの時間を主と共に過ごすことができるようになることを意味します。次に、食事をより簡素にするということは、より消化がしやすくなるということと、より頭脳が明晰になるということです。私たちは、砂糖が思考の中心をつかさどる前頭葉の働きを鈍らせることを知っています。神の声をより明確に聞き、神にさらに近づきたいなら、私たちの食生活が妨げにならないようにする必要があります。

断食とは単に食事を控えるだけのものではありません。テレビ、映画、ゲーム、また、Facebook や YouTube などを控えましょう。例えば Facebook や YouTube など、必ずしもそれ自体が悪ではないものがわたしたちの時間を奪うのです。主と共に過ごす時間を確保することができるよう、可能な限りすべてのものを控えましょう。

「断食は、神からの奇跡を得られる最短の方法ではありません。断食は自らを低くすることにより、神が私たちの中で、また、私たちを通して働かれることを意味するのです。ある事柄のためには断食と祈禱を勧め、またそれが適切である。これは神の御手の中にあって心を清め、真理を受け入れやすい精神状態にする手段である。我々は祈りの応答を得るが、それは我々が神の御前に心をへりくだらせるからである」『食事と食物に関する勧告』第10部「断食」より

神の前に心をへりくだらせ、心と精神、力を尽くして神を求めましょう。祈りと断食により神に近づきましょう。そうすれば、神は私たちを近くに引き寄せてくださいます。

聖霊

一人の人のために、あるいは特定の状況において何をどのように祈るべきかを教えていただけるよう聖霊に求めましょう。「わたしたちはどう祈るべきかを知りませんが、“霊”自らが、言葉に表せないうめきをもって執り成してくださるからです」と聖書に記されています。

「わたしたちは、キリストの名によって祈るだけではなくて、聖霊に感じて祈らなければならない。『御霊みずから、言葉にあらわせない切なるうめきをもって、わたしたちのためにとりなして下さるからである』と言われているのは、そのことを説明している。このような祈りを神は喜んで聞いてくださるのである（ローマ 8：26）。熱心に力をこめて、キリストの名によって祈るならば、そのような熱心さをもって祈ること自体が、『求めた思うところのいっさいを、はるかに越えて』、神がわたしたちの祈りに答えようとしておられることの神の保証なのである（エペソ 3：20）。」（『キリストの実物教訓』126 ページ）

信仰

預言の霊はこのように語っています。「祈りと信仰はこの世のどんな力もできないことをする」（『ミニストリー・オブ・ヒーリング』495 ページ）。私たちも、神が私たちの祈りを聞かれ、応えてくださるという信仰をもって祈るよう、励まされています。

「キリストは『求めなさい。そうすれば、与えられる』と語られました。この言葉の中で、キリストは私たちがどのように祈るべきか教えておられます。天の父なる神のもとへ幼子のように聖霊の賜物を求めるように教えられているのです。『信じて祈るならば、求めるものは何でも得られる』。悔い改め、罪を告白し、あらゆる罪、とがを注ぎだし、父なる神のもとに行くのです。そして、主の約束を求めるのです。.....私たちは神の言葉を信じることで、品性は信仰の中に形成されたことが明らかとなるのです。神の言葉を通して、神により明らかとされるのです。神があなたの祈りを聞かれたと信じられるまで、素晴らしい感動を待っていてはなりません。感情はあなたの尺度となるものではないのです。感情は変化しやすいものです。.....私たちはこの世にいる間、何度となく神を試したにも関わらず、天から助けが与えられます。私は信仰により歩き、不信仰により救い主の名誉を汚すのです」（*Review and Herald*, Oct. 11, 1892, par. 1, 3, 6）

また、次のようにも言われています。「神の約束されたどんな賜物でも求めることが可能である。つぎに、われわれは与えられることを信じ、そして与えられたことを神に感謝しなければならない」（『教育』305 ページ）。ですから、主が祈りに応え、働いてくださることを信じて、まず感謝をささげる者へと変えていただきましょう。

7 人のための祈り

今回の祈りの 10 日間において、より神に近づいてほしいと思う 7 人のために特別祈ることをお勧めいたします。親戚、友人、同僚、近隣の人、あるいは知人等、どのような関わりのある方でも良いでしょう。誰のために祈る必要があるのか、どんなことをあなたに求めておられるか、主から教えていただく時間をとりましょう。この 7 人に対して真の重荷を感じることができるよう、祈り求めましょう。

Unless otherwise noted, Bible texts are quoted from the New King James Version (NKJV). Copyright © 1979, 1980, 1982 by Thomas Nelson, Inc. Used by permission. All rights reserved.

Text marked NIV is taken from the Holy Bible, New International Version, NIV. Copyright © 1973, 1978, 1984, 2011 by Biblica, Inc. Used by permission of Zondervan. All rights reserved worldwide.

Text marked ESV is taken from the ESV Bible (The Holy Bible, English Standard Version), copyright © 2001 by Crossway, a publishing ministry of Good News Publishers. Used by permission. All rights reserved.

Text marked KJV is from the King James Version.